

ブドウ「シャインマスカット」の省力栽培技術

研究のねらい

「シャインマスカット」は、高糖度で食味が良く人気が高いことから、本県でも栽培面積が増加しています。しかし、変形した花穂の発生が多い特性があり、良好な果房を確保するためには、花穂と果房管理作業に多くの労力が掛かります。また、樹勢が強くと余分な枝葉の発生が旺盛なため、それらを取り除く新梢管理作業も複雑です。

そこで、短期間に集中するこれらの管理作業の省力化について検討しました。

技術の特徴

- 1 花穂整形は、花穂整形器（写真1）を利用することで、はさみを使うより作業時間を約60%省力化することができます。
- 2 全体の着果量は変えず、1新梢に2房着けるように摘房することで（写真2）、余分なジベレリン処理と摘房作業を省くことができ（図1）、従来の1新梢に1房着ける方法より35%省力化することができます。1新梢に2房着けても、果粒肥大や糖度の低下は見られません。
- 3 花穂の先端が帯化・分岐した変形花穂

は、副穂を利用することで摘粒作業を約35%省力化することができます。

4 果実軟化期以降は、余分な枝葉を取り除く新梢管理作業を省くことで約75%省力化することができます。

5 これらの省力技術によって、開花から収穫前までの10aあたりの全作業時間は157時間となり、従来の242時間から35%短縮となることから、規模の拡大も可能となります。

今後の取り組み

今後は、果実品質の向上に取り組み、さらなるブドウ農家の経営向上を目指します。



写真1 花穂整形器 写真2 1新梢2房利用の果房

（執筆者：柚木 秀雄）

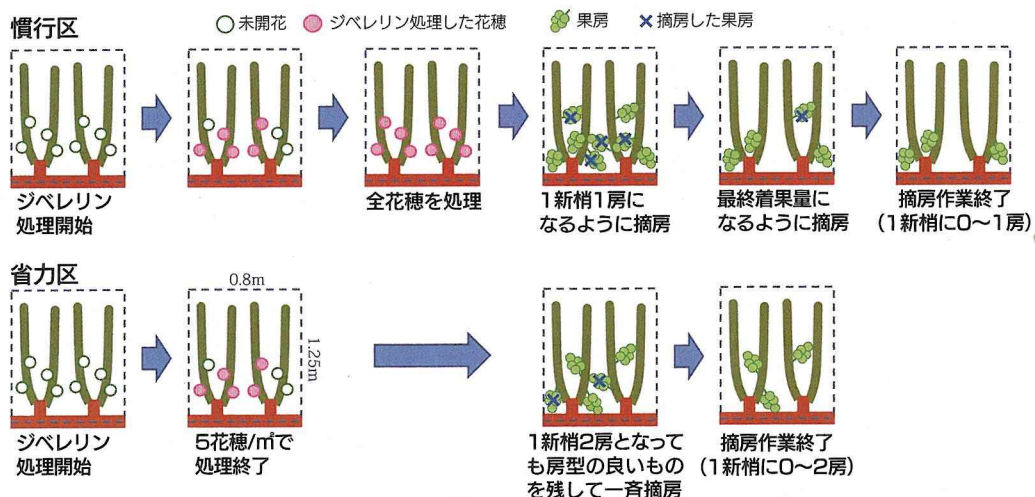


図1 1新梢2房利用によるジベレリン処理および摘房作業の省力方法模式図